



2009年度「メセナ活動実態調査」結果 社会からの期待に応え、メセナ継続を堅持

本件は10月30日(金)14:30、東京都内で記者発表会を実施し、文部科学記者会にて資料配布を行っています。

社団法人企業メセナ協議会(東京都千代田区丸の内1-8-2、理事長:福地茂雄/日本放送協会会長)は、2009年4~5月に全国の上場企業、協議会会員企業等計4,384社を対象に、2008年度のメセナ(芸術文化支援)活動の動向について、アンケートによる調査を実施しました(有効回答数は636社、回答率は14.5%)。

メセナ堅調の背景に取り組み体制の成熟

2008年度にメセナ活動を実施したと回答した企業は464社(73.0%)で、その活動総件数は2,822件、1社当たりの平均活動件数は6.1件でした。メセナ活動費総額については408社が回答、その合計は258億1,633万円で、1社当たりの平均活動費総額は6,327万円、中央値は878万円となっています。前年度調査と比べて大きな数値の変動はなく、昨年秋の世界的な金融危機を経たものの、統計的には現時点でその影響は見られません。メセナ活動を予算化している企業が8割を越えていることも、活動費に大きな変化がなかった理由と考えられます。

また今回、芸術家やアートNPOなど、メセナ活動のパートナーについての意見や要望を聞いたところ、パートナーシップが成熟しているという実感や、互いの得意分野をいかした活動への期待などの記述回答が寄せられ、協働相手としての関係が深化している様子が見られました。メセナ活動の方法では自主事業が増加の傾向にあり、これらの回答も含め、企業がより自発的な意志を持って、メセナを堅持する姿勢が伺えました。

社会からの信頼・期待がメセナ継続の鍵に

今年度の時事設問では、メセナ継続に対する意識を探るべく、「現在メセナ活動を継続する上で課題と感ずること」と「今後もメセナ活動を行う理由」について聞きました。

課題については、「メセナ活動の評価が難しく、成果をアピールしにくい」(46.3%)という回答がもっとも多く、次いで「経済状況の悪化で、メセナ活動が見直し・削減の方向にある」(40.1%)となりました。メセナ活動の評価については、「社会的意義」を重視するとともに、「社内の評価」を意識する企業が増えていることから、社内外に対して活動の意義をどう示し、理解を得るかが重要なポイントであることがわかります。

一方で、メセナを続ける理由としては「活動が定着しており、継続への期待が高いから」という回答が70.0%に上りました。2004年度から聞いている「メセナ活動を通じて企業が得たこと」でも、「地域との関係がより深まった」との回答がここ数年最多となり、「社員が自社に誇りを持つようになった」という回答も継続的に増えています。これらの回答からは、メセナ活動が地域社会や社員など様々なステークホルダーとの関係に好影響を与え、メセナ継続の原動力になっていることが伺えます。

< 2009年度「メセナ活動実態調査」おもな調査結果 >

「メセナ活動実態調査」では、宣伝広告費、広報費などの経費で支出した活動も対象であるが、販売促進を主目的とする場合は対象としない。また、スポーツ、学術研究、福祉、環境問題等への支援は対象としない。

メセナ活動の実績

[MA] = 複数回答

活動の実施状況	・「メセナ活動を行った」と答えた企業は 464社 (73.0%) ・活動総数は 2,822件 で前年比 212件 減、1社当たりの件数は平均 6.1件
活動の芸術分野 [MA]	・「音楽」 326社 (70.3%)が最多、次いで「美術」 258社 (55.6%)、「伝統芸能」 143社 (30.8%)など
活動の実施方法 [MA]	・「他団体への支援・提供」 377社 (81.3%)、「自主企画・運営」 287社 (61.9%) ・「他団体への非資金支援(マンパワー、場所、製品・サービス等)」 178社 (38.4%)
活動費総額	・活動費総額合計は408社で 258億1,633万円 、1社平均は 6,327万円 ・1,000万円未満の企業が 51.2%

メセナ活動の取り組み

活動の運営体制 [MA] [予算・方針・担当部署]	・「メセナ活動の予算を決めていた」企業は 377社 (81.2%) ・「基本方針を策定していた」企業は 249社 (53.7%) ・「文化・社会貢献等の専任部署」が設けられている企業は 114社 (24.6%)
パートナーについて [MA]	・パートナーを組んだ相手は「芸術の専門家」(65.6%)が最多で、その中でもNPO法人は22.5%
活動を何で評価するか [MA]	・「参加者・来場者の評価」 300社 (64.7%)、「参加者・来場者数」 244社 (52.6%)が上位 ・「社内の評価」 113社 (24.4%)はここ5年間で10ポイント増加
活動を通じて企業が得たこと [MA]	・「地域との関係がより深まった」 317社 (68.3%)が最多 ・「社員が自社に誇りを持つようになった」 134社 (28.9%)が4年前と比べ10ポイント増加
時事設問 活動継続の課題 [MA]	・「メセナ活動の評価が難しく、成果をアピールしにくい」 215社 (46.3%) ・「経済状況の悪化で、メセナ活動が見直し・削減の方向にある」 186社 (40.1%)
今後も活動を行う理由 [MA]	・「活動が定着しており、継続への期待が高いから」 325社 (70.0%) ・「自社への信頼・評価を得ることにつながるから」 254社 (54.7%)

✍️ 詳細は「メセナレポート2009」に掲載。ご参照ください。

▶10月30日、調査結果の概要をまとめた「メセナレポート2009」を発行、各社の活動はウェブにて公開します(メセナ活動データベース「メセナビ」<http://www.mecenavi.info/>)。

社団法人企業メセナ協議会

企業によるメセナ(芸術文化支援)活動の推進を目的とする民間企業の連合体として、1990年2月に発足した公益法人。主な事業として、企業の芸術文化支援についての、1.啓発・普及、2.情報集配、3.調査・研究、4.顕彰、5.国際交流、6.助成認定を行っている。会長:福原義春、理事長:福地茂雄。正会員137社、準会員39団体(2009年6月現在)。

「メセナ活動実態調査」とは

企業メセナ協議会が、全国の企業を対象に1991年より毎年実施している、企業の芸術文化支援に関する調査。メセナ活動の統計調査および事例収集を通じ、企業メセナの課題や展望を探る手がかりとする。調査結果は、企業の文化・社会貢献活動についての代表的なデータとして、企業・行政・研究機関・海外の文化機関等に広く活用されている。調査の企画・分析は、協議会会員企業のメセナ担当者が構成する調査部会が行う。

【本件に関するお問い合わせ先】

社団法人企業メセナ協議会 広報担当:内田 / 調査担当:伴

TEL: 03-3213-3397 FAX: 03-3215-6222 E-mail: mecenat@mecenat.or.jp

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 第一鉄鋼ビル 1階 URL: <http://www.mecenat.or.jp/>